

つくば霞ヶ浦りんりんロードが 第1次ナショナルサイクルルートに指定！

ナショナルサイクルルートとは、国土交通省が指定する、日本を代表し、世界に誇れる自転車道のこと。

11月7日、全国に数ある自転車道の中から「つくば霞ヶ浦りんりんロード（以下、りんりんロード）」が第1次に指定されました。りんりんロードは全長約180キロ。市内の高浜・三

村・関川地区も通るルートで、東京に近く平たんで走りやすいことが評価されました。

第1次ナショナルサイクルルートは3枠。ほかの2枠は、琵琶湖を一周する「ピワイチ」（滋賀県）、瀬戸内海の島々を巡る「しまなみ海道サイクリングロード」（広島県、愛媛県）が選ばれました。



恋瀬川にかかる愛郷橋を走るサイクリスト

2020

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年。今年も新たな時代に相応しいまちづくりに向けて鋭意努力してまいります。

特に、地域医療については、子どもを安全に産み育てられる環境、そして全世代が住み慣れた土地で安心して医療を受けられる環境を整えるため、近隣自治体や専門機関と連携し、主体的かつスピーディーに対応を進めていきます。

皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、市民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とします。

石岡市長 今泉文彦



Happy new year!



3月22日開催
獅子頭ライド



会員募集 石岡市民サイクリングクラブ

▶自転車を始めてみたいけど、何から始めればいいのか分からない…。

そんな不安を解消すべく、石岡市民サイクリングクラブでは、試走イベントや自転車にまつわる情報提供を行います。登録料は無料ですので、お気軽にご登録ください。現時点で小学生から70代まで65人が登録しています。

身近に自転車仲間を作りませんか？

岡政策企画課 Tel. 23-7277



昨

年は石岡一高の甲子園出場や、いきいき茨城ゆめ国体で石岡市出身の選手たちが活躍するなど、スポーツが盛り上がった一年でした。また昨年3月、県内初となる自転車活用計画「石岡市りんりんタウン構想」を策定し、11月には市内在住、在勤者を対象にした市民サイクリングクラブを発足しました。

年が明けて令和2年。3月には石岡市で初となる自転車の大会「獅子頭ライド」が開催されます。

自転車であれば、車に乗っていると気付かなかつた、風景、歴史、お店、ひと、石岡の魅力に出会えるはず。次ページには、石岡に暮らす皆さんの今年の目標をご紹介します。まちの魅力は、ここに暮らすひとたちにこそあります。子どもたちの可能性を伸ばし、年を重ねてもいきいきと暮らせるまちへ。石岡市も挑戦していきます。

2020年の挑戦



三村囃子が好き。おまつりが好き

姉 ふうか 吉田風香さん (三村小5年)
弟 みなと 吉田湊さん (三村小1年)

風香さん：三村流と染谷流、どちらも踊れるようになりたい！
湊さん：ひょっとこを上手に踊れるように、三村囃子こども教室で練習、頑張るぞ！

三村囃子はテンポが速いのが特徴。軽快なリズムは、地元の大人から子どもへ、耳から耳へと伝えられて、今に残る、大切なふるさとの音色です。

石岡ラグビースクール出身のラグァール

妹 いっき 但木衣月さん (石岡中3年)
姉 (写真右) ただきみさき 但木海咲さん (土浦一高2年)

海咲さん：小学1年生から高校まで続けたラグビー。送迎や練習に協力してくれた両親に感謝です。将来の夢は薬剤師。まずは大学合格を目指して頑張ります！
衣月さん：高校に入ってもラグビーを続けたいと思っています。男子に負けないプレーをして、女子ラグビーを盛り上げていきたいです！



石岡市には小学生を対象にした石岡ラグビースクールがあります。練習拠点は昭和シェル石油の研修施設や城南中グラウンドなど。1年から6年生まで約30人が在籍しています。

ともおぶ 井口朋重さん (県立医療大学2年)

人の役に立つ仕事がしたいと思い、理学療法士になる勉強をしています。リハビリでは、先天的な障がいや病気の後遺症、高齢による症状など、子どもから高齢者まで幅広い年代の人と関わる機会があります。

3年になると長期の病院実習が始まるので、色々な人との関わりを通して、人間的にも成長できるように、しっかり勉強したいと思います。



2020年に成人を迎えるふたり

まお 鈴木方生さん (茨城大学2年)

大学では、治水対策や地盤調査など、地域で安心して暮らすための土木技術を学んでいます。

来年は、地域に入り活動する機会があるので、精一杯取り組み、学びを深めたいです。就職しても、石岡市には、ずっと住みたいと思っています。今は防災、防犯、公共交通など色々なことを学び、ゆくゆくは、地域に還元できる人になるのが目標です。



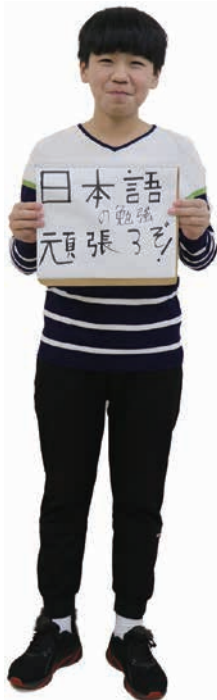
石岡市の挑戦

次の4つの目標を総合戦略の大きなテーマに掲げ、まちづくりに取り組んでいます。

- 市の強みを活かした安定した雇用の創出
- 市の魅力を活かした、新しい人の流れをつくる
- 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
- 時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る

野球にお囃子、体操に水泳。
昨年、頑張ったユニフォームで登場！
戸田さんちの仲良し5人兄弟

和咲くん：中学に入って、部活と勉強を頑張ります！
千照くん：「排禍ばやし」で、ひよっとこの練習を頑張る！！
明巡くん：小学校に入ってお友だちをたくさんつくる！
周迎くん：練習して、泳げるようになるぞー！
爲久くん：ハイハイを卒業して、お兄ちゃんとたくさん遊ぶ😊
允子さん：家族も地域の方もみんなが笑顔でいられますように。



国府地区公民館の
日本語教室で勉強中!

楊皓男さん
(府中中2年)

父の仕事の都合で中国の山東省青島市から、石岡市に来て1年。新しい環境に慣れ、友だちもできました。今年は高校受験に向けて、勉強を頑張りたいです！

石岡市には5つの国際交流団体があり、「フレンドシップいしおか」と「グローバルハーツ」が日本語教室を開催しています。フレンドシップいしおかでは小中高生の教室も開催しています。



長男 和咲くん (柿岡小6年)
次男 千照くん (柿岡小4年)
三男 明巡くん (6歳)
四男 周迎くん (4歳)
五男 爲久くん (8か月)
母 戸田允子さん

人生を自転車と駆け抜ける

菱沼三郎さん
(石岡市民サイクリングクラブ)

定年退職後の健康管理に始めたロードバイク。風を切る爽快感と、走り抜いた時の達成感のとりこになり12年が経ちました。2018年11月に「いばらきサイクリングサポートライダー」の認定を受け、2019年11月に設立したばかりの石岡市民サイクリングクラブにも入りました。ボランティアガイドとして「安全に楽しく走る！」をモットーに、茨城県の魅力アップの一役を担っていかれたらと思っています。



今年が、よい年になりますように。

祭りを通して伝えたいもの

高木陽介さん
(中町青年会)

今年のおまつりの年番町は中町が務めます。年番とは15年に1度、御仮殿を自町内に建設して、常陸國總社宮の神様をお迎えする役割の町内です。

子どもの頃、祭りを通して地域の大人たちを知り、頑張ってお囃子を引くと、山車に乗せてもらったのが嬉しかった思い出があります。今の子どもたちにも、そんな経験をさせてあげたいし、祭りを通して石岡の魅力を伝えていきたいですね。

